西岩野遺跡発掘調査
現地説明会資料

令和 8(2026) 年 8 月 23 日 (日)
調査主体　柏崎市教育委員会
担当　　博物館埋蔵文化財係
調査支援　株式会社吉田建設

1　遺跡の概要

西岩野遺跡は、柏崎市大字山本・長崎・土合に所在する、通称「岩野台」の上に広がる遺跡です。主に弥生時代後期（約 1,800 年前）の遺構や遺物が確認されていますが、古墳時代前期（約 1,700 年前）や平安時代（約 1,100 年前）など、さまざまな時代の痕跡も見つかっています。

平成 29(2017) 年度に県道改築工事に伴い行った発掘調査では、新潟県内で初めてとなる弥生時代後期の大型掘立柱建物を発見しました。さらに、玉類を副葬した墓や古墳時代前期の円形周溝墓（円墳）なども確認され、大きな注目を集めました。こうした成果を受け、柏崎市教育委員会は新潟県等の関係機関と協議を重ね、道路改築工事の計画を変更していただくことで、重要な遺構のほぼ全域を現状のまま保存することができました。

その後、令和 2(2020) 年度から令和 4 (2022) 年度に行った県道改築工事に伴う発掘調査では、弥生時代後期の竪穴建物、墓、土器をまとめて廃棄した跡なども確認されました。

2　確認調査の概要

西岩野遺跡の適切な保存と活用を進めるため、これまで未調査であった部分を対象に、令和 6（2024）年度から確認調査を開始しました。

令和 6 (2024) 年度は 3 か所の調査区（約 124 ㎡）を調査し、弥生時代後期の墓とみられる土坑、掘立柱建物を構成すると考えられる柱穴、そして用途不明の段状遺構を確認しました。

令和 7(2025) 年度は、8 か所の調査区（約 109 ㎡）を調査し、弥生時代後期のものとみられる大型の竪穴建物を確認しました。この建物は、台地頂部の縁辺部に位置しており、半分以上が地滑りによって焼失してしまったことから全体の規模を明らかにすることはできませんでした。また、掘立柱建物のものとみられる柱穴も複数確認されました。

令和 8 (2026) 年度は、5 か所の調査区（約 150 ㎡）で調査を実施しています。本年度の調査は、平成 29 (2017) 年度の本発掘調査で見つかった大型掘立柱建物の構造を確認すること、前年度に検出したちゅうけつが構成する建物の構造を把握すること、遺跡縁辺部の状況を確認することなどを目的としています。

3　調査成果

大型掘立柱建物

平成 29(2017) 年度の本発掘調査で調査区外となった部分に調査区 TR12 を設定し、未検出だった柱穴最後の 1 基を確認しました。柱穴は、長軸 1.15m、短軸 0.90m で、これまでに見つかっていた他の柱穴と同様に建物の長軸方向に沿った長方形を意識した形で掘られています。また、上面で柱の痕跡を直径 36 ㎝の円形として確認することができました。今回の調査結果をこれまでの記録と整合させたところ、全ての柱筋がほぼ一直線に並んでいることが見て取れ、計画的に作られた建物であったことを再確認できました。

新たに見つかった掘立柱建物

昨年度の調査で見つかったやや大きめの柱穴 3 基が直角に並んでいたことから、これらの広がりを家訓することを目的に TR13 を設定し調査した結果、新たに掘立柱建物を確認することができました。この建物は、桁行 2 間（約 3.5m）、梁間 1 間（約 2.7m）と小型のものですが、大型掘立柱建物とほぼ直交して建てられています。柱穴からの出土遺物が少ないため時期を特定しがたいですが、大型掘立柱建物を意識して建てられていたとすれば、同時期に存在していたとも考えられます。引き続き、検討していく必要があります。確認できた柱の痕跡からは、直径 20 ㎝程の柱が使われていたようです。

その他の調査成果

大型竪穴建物の周囲に、別の竪穴建物が存在しないかを確認することを目的に TR14 で調査を行いましたが、数基の小さい穴が点在するだけでした。

勾玉などが出土した方形周溝墓などからなる墓域の広がりを把握することを目的に TR15 を設定して調査を行いましたが、新たな墓は見つかりませんでした。

集落を囲む環濠の存在を把握することを目的に TR16 を設定して調査を行いましたが、区画施設を把握することはできませんでした。

これらの調査区で大きな成果を得ることはできませんでしたが、西岩野遺跡の集落構造を把握するための成果であるということもできます。今後、遺構の分布状況の検証と検討を進めていき、西岩野遺跡の実態を解き明かすことで、遺跡の重要性を再認識するとともに、今後の保存と活用に生かしていきます。





大型掘立柱建物（平成 29(2017) 年度撮影・左上が北）



大型掘立柱建物の柱穴（北東から）



今回の調査で見つかった掘立柱建物（南西から）



今回の調査で見つかった掘立柱建物（北から）



独立棟持ち柱の柱穴とみられていた部分の土層（東から）



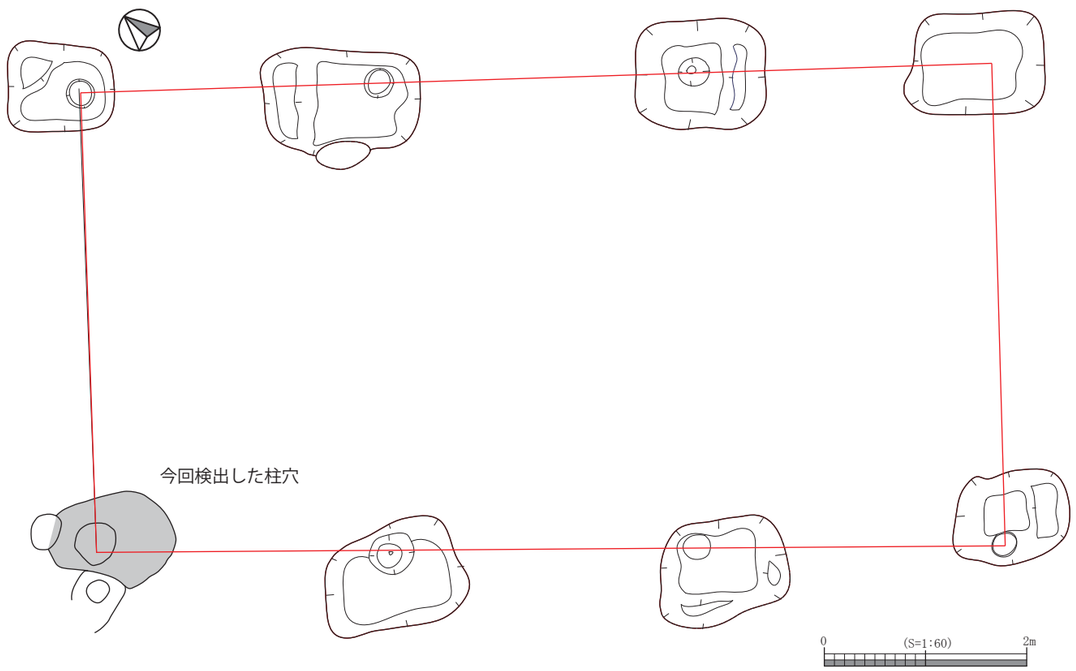
大型掘立柱建物の柱穴（東から）



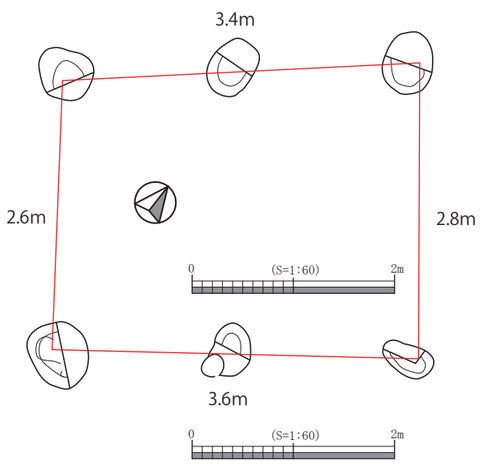
掘立柱建物の柱痕跡が残る柱穴（南から）



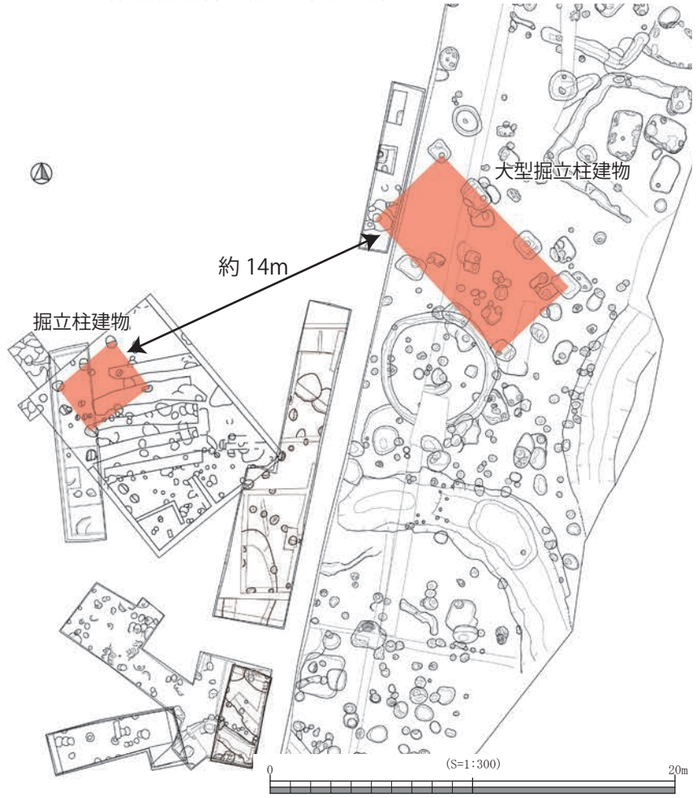
掘立柱建物の柱穴（北から）



大型掘立柱建物



今回の調査で見つかった掘立柱建物



大型掘立柱建物と掘立柱建物の位置関係